平成30年度指定管理業務評価結果書

1　施設の名称等

(1) 公の施設の名称	グラスハウス
(2) 指定管理者	所在地　大阪市中央区北浜４丁目１番２３号 名　称　ミズノグループ共同企業体 代表者　美津濃株式会社　代表取締役社長　水野　明人
(3) 公の施設の所管部署	津山市教育委員会生涯学習部スポーツ課
(4) 指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日
(5) 評価対象期間	平成３０年　４月　１日　～　平成３１年　３月３１日

2　施設の利用状況

(1) 利用者数等	124,457人（前年度　124,637人）
(2) 事業の内容	施設の維持管理及び施設の利用許可等グラスハウス運営業務

3　収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総　　額	215,638千円（前年度	215,166千円）
	指定管理料		109,200千円
	利用料金収入（一般・会員・アスレチック利用）		75,825千円
	自主事業収入（事業収入、物販・レストラン収入等）		28,633千円
	その他の収入		1,980千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総　　額	206,397千円（前年度	205,565千円）
	人 件 費		56,353千円
	事 務 費（通信費・事務消耗品費等）		1,989千円
	事 業 費（自主事業費・宣伝広告費等）		42,203千円
	管 理 費（光熱水費・修繕費・委託費等）		103,628千円
	そ の 他（保険料・公租公課）		2,224千円

4　総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	ご意見箱の設置による利用者アンケートを実施し、利用者の意見や要望の把握に努めた。施設の改善や管理運営に関すること等、様々な要望を整理分析し、改善要望に関しては、迅速かつ的確な対応に努めた。また、朝礼・日報での情報交換を図り、スタッフミーティングによる意見交換、情報分析を行った。顧客満足研修を重点的に実施し、職員の業務改善を行った。
(2) 指定管理者の自己評価	・「安全・安心・信頼」を第一に優先し、誰もが楽しく快適に利用頂けるよう管理運営に努めた結果、大きな怪我や苦情トラブルはなかった。 ・施設管理については、定期点検を確実に行い不具合の早期発見と耐用年数の延伸に努め、故障の発生を未然に防いだ。 ・経費縮減については、水やりタイマーを取替え１日の水やり時間を短縮することによる節水、照明器具の間引き取り組みによる電力削減、こまめな暖房スイッチのオンオフによる灯油の使用量削減を行い、光熱水費の経費削減を行い管理運営の改善に努めた。 ・利用促進については、利用者の健康増進を目指し、立地条件を活かしたレッスンプログラムの展開、難易度や強度に強弱をつけたプログラムや魅力あるイベントを新規導入し運動型健康施設の提案を行い実施した。年間を通じ広報誌、ＨＰやＳＮＳ、折込チラシ等の広報活動を行い、サービスの向上及び利用促進に努めた。

(3) 市の評価	・救命救急講習、水上安全・消防避難訓練、施設マネジメント研修、マナー教育など必要に応じた研修を行い、社員の教育に力を入れている。 ・入会キャンペーン（1 週間体験）、アーティスティックスイミング演技披露、ウォーターラリーなどのイベントや、ノルディックウォーク、リレーマラソンなど立地を活かしたイベント実施により利用を推進している。また、新規企画にも力を入れ、コアキッズ体操教室、会員感謝ウィーク、ナイトタイム半額デー、20 周年記念「200 名プール無料招待デー」、つやまっこ春休み割引ウィーク「津山市の小学生以下 100 円未就学児無料」等、多くの新規事業を実施し地域住民の健康増進と交流の場を提供している。 ・光熱水費等の経費削減のため、照明機器の間引き、節水装置の設置など積極的に取り組んでいる。 ・指定管理者においては、年間利用者数 13 万人の目標値に向け、更なる広報活動を行うとともに、利用者ニーズの把握に努め、今後も魅力あるプログラム・イベント企画といった運営・自主事業の充実が求められる。 ・一方市としては、安全安心で快適に利用いただくための施設・設備の改修、トレーニング機器等の更新を継続して行っており、こうした施設整備も活かしながら、利用者増に取り組まれることを期待したい。